

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for discussion of reasons for performance (forecast) values not reaching plan target values.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for discussion of measures for improvement and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for discussion of the progress of improvement policies.

団体名	和歌山県紀美野町
会計名	上水道事業

類型	C
----	---

④ 改善額

(i) 推移表

(単位: 百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	-3	-2	9	8	5	17	11
実績(見込)値(B)	-8	-7	-3	-	8	-8	
乖離値(C) (B-A)	▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 12.0	▲ 8.0	3.0	▲ 25.0	▲ 19.0
乖離率(D) (C/A)	100.0%	250.0%	-133.3%	-100.0%	60.0%	-147.1%	-172.7%

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位: 百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
料金改定による料金収入の増額が見込めなくなった分			11	10	8	29		22
燃料費の高騰による経費の負担増		2				2		25
退職手当組合の負担金率改定に伴う増	1	1	2	1		5		7
市町村共済組合の掛金率改定に伴う増	1	1	1	1		4		7
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
						-		×
合計	2	4	14	12	8	40		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成19年度における、改善額の未達成の要因として、

・水道料金の改定に伴う業務要員として、料金改定等を含めた、事務作業の経験及び知識が豊富である人材を希望したところ、主査から課長補佐への人事異動が行われたことが大きな要因となっています。

平成20年度における、改善額の未達成の要因として、

・人件費における退職手当組合や共済組合の負担金率の改定による負担増、また、原油(燃料)の価格高騰に伴い、電気代の価格が上がり、動力費の負担増が大きな要因となっています。

平成21年度における、改善額の未達成の要因として、

・当初、平成21年度より改定予定となっていた水道料金が、旧美里町側の料金を旧野上町側の料金に合わせるという形になった為、計画当初に見込んでいた料金収入の増加分が見込めなくなった事。また、計画当初に予定していなかった、人件費における退職手当組合や共済組合の負担金率の改定による負担増加があり、その二つが要因となっています。

平成22年度における、改善額の未達成の要因として、

・平成21年度と同じく、当初計画されていた水道料金の収入増が見込めなくなったこと、当初の計画時には予定されていなかった、人件費における退職手当組合や共済組合の負担金率の改定による負担増加が要因となっています。

平成23年度における、改善額の未達成の要因として、

・平成21年度・22年度と同じく、当初計画されていた水道料金の収入増が見込めなくなったこと、当初の計画時には予定されていなかった、人件費における退職手当組合や共済組合の負担金率の改定による負担増加が要因となっています。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

計画承認時において維持管理費等の削減を見込んでいましたが、今後、更なる経費の見直しを検討中です。

(v)改善方針の進捗状況

前年度に比べ、平成22年度決算においては、維持経費等が抑えられました。今後も、出来るかぎりの経費の見直し等を検討予定です。

団体名	和歌山県紀美野町
会計名	上水道事業

⑤ 公営企業債現在高

類型	C
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 平成23年度	計画前年度 (平成18年度)
	計画目標値(A)	323	314	305	294	283
実績(見込)値(B)	315	306	311	300	288	
乖離値(C) (A-B)	8	8	▲6	▲6	▲5	88
乖離率(D) (C/A)	2.5%	2.5%	-2.0%	-2.0%	-1.8%	23.4%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
当初計画時には予定の無かつた起債借入計画が出来た為			14	14	14		3
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
							×
合計	-	-	14	14	14		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

目標値に届かない理由として、計画当初時において、予定していなかった配水管新規敷設工事が急遽増えたのですが、自己資金では工事費を負担するのが難しかった為、平成21年度において地方公共団体金融機構資金の借入を申し込んだことによります。住民からの要望による施設整備等、やむを得ない場合のみ、予算やその他建設改良工事等の費用のかねあいを考えたうえで、出来るかぎりの対応をしていく予定です。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

計画承認時において維持管理費等の削減を見込んでいたが、今後、更なる経費の見直しを検討中です。

(v)改善方針の進捗状況

前年度に比べ、平成22年度決算においては、維持経費等が抑えられた。今後も、出来るかぎりの経費の見直し等を検討予定です。